



2016～2017年度国際ロータリー会長ジョン・ジャーム

会報
Weekly Report

例会場 フォレスト・イン昭和館 TEL:042-542-5555
例会日 毎週木曜日 開会点鐘 12時30分～
事務局 〒196-0014 東京都昭島市田中町562-8 昭和第1ビル202-B
TEL 042-543-8975 FAX 042-541-1117
ホームページ <http://www.akishima-rc.org>
E-mail akishima-rc@hkg.odn.ne.jp

会長方針 「信頼」と「誇り」と「連帯感」

第2384回 例会報告 2016年12月1日発行 VOL.49-18
2016年11月24日(木)例会

司会

管理運営委員会
森谷 晴一 委員



【開会点鐘】12時30分 安保 満 会長



【斉唱】

ロータリーング「四つのテスト」
ソングリーダー 森島 徳幸 会員

来訪者紹介

東京米山ロータリーEクラブ2750
ファオジア・ディナ 様

【来訪者挨拶】 ファオジア・ディナ 様
先週インドに行って来ました。昔、米国に留学したときに3つのロータリークラブに訪問しました。出来るだけ海外にあるロータリークラブに訪問したいと思っています。



Eクラブでは、来年3月に設立5周年を迎えます。よろしくお願いいたします。

会務報告

安保 満 会長

- 11月に雪が降るのは54年振りと言う事で。54年前は私が生まれた年です。一昨日から仕事で千葉に行っておりました。今朝、地震がありました。千葉は非常に揺れて、先日東京にいたときより強い揺れを感じました。
- 11月20日(日)、青少年フェスティバルが開催されました。東京昭島RACの皆さんが出席して、昭島RC会員はじめ大勢の皆様にご支援頂きました。
- 2016-17年度も半ばですが、当該年度年次報告書をガバナー事務所に提出しました。
- 先週、ロータリー財団高橋委員長に卓話をお願いしましたが、現在円安が進行しております。財団寄付をしていただける方は、ぜひロータリーレートが安い今月中にお願い致します。
- 地区より、ガバナーノミニデーデグジネート(2019-20年度)は東京六本木RC浅田豊久様に決定の案内が届いています。



幹事報告

相田 禎延 幹事

1. 皆様のポストに、地区大会の案内を入れさせていただきました。
日時 2017年2月21日(火)・22日(水)
安保会長と私(相田幹事)は21日にも出席致しますが、皆様は22日(水)に出席をお願い致します。
2. 本日例会終了後、理事会が開催されます。役員理事の皆様にはよろしくお願い致します。



チーム報告

○親睦活動出席チーム

※出席報告 荒巻 正康 委員



会員総数	出席免除	出席義務者	本日の出席/内免除会員
47名	4名	43名	37名/2名
事前メイクアップ		本日の出席率	
1名		84.44%	
※事前メイク 小山(満)会員			
※メイクアップ11月12日訂正 小山(善)会員、村山会員 75.00%⇒77.27%			
11月17日訂正 小山(満)会員、竹前会員 矢口会員 82.22%⇒88.99%			

○50周年実行委員会

※報告 三田 忠 実行委員長
11月17日(木)例会終了後に第3回実行委員会を開催致しました。

財務委員会より実行委員会口座の開設をしました。

総務委員会より50周年用の横断幕作成、実行委員会の名刺作成の提案がありました。

12月8日に第2回事業委員会が開催を予定しています。

12月は中止させていただきますが、月1回のペースで開催を予定しております。各委員会の皆様方には間近になって参りましたので、実動をお願い致します。



○青少年奉仕チーム

※青少年フェスティバル報告

日恵野裕之 チームリーダー

11月20日(日)青少年フェスティバルに参加して参りました。青少年奉仕事業のチーム事業として“地域の青少年健全育成に努力する”をテーマで企画した事業です。

東京昭島RACのメンバーも参加してくれました。当日はRAC会員7名、予定者2名と清泉中学校より9名が手伝いに来てくれました。昭島RCより安保会長、相田幹事ほか数名の会員に参加して頂きました。

RACのメンバーと清泉中学校の生徒達は、年令も近いせいか遊びに来ていた小学生に楽しそうに遊びをしていました。

遊びは、畢焔会員から紹介して頂いた、中国のむかし遊びをしました。10点の遊びから3つを選んで遊びました。

中国独楽、石遊びと羽子板の羽根を大きくしたような羽根を足で蹴って遊ぶ、遊びでした。ありがとうございました。



OIM実行委員会

※報告 矢口 完 会員

11月21日(月)に第3回IM実行委員会に出席して参りました。

IMとはInterCity Meetingの略ですが、親睦を深める、ロータリーの情報を知ってもらう会で、ガバナー補佐が主催します。

開催日 2017年4月12日(水)
(14時30分登録開始、15時点鐘の予定)

会場 立川パレスホテル

内容は、美津濃株式会社の代表取締役社長 水野明人様の基調講演とロータリー財団奨学生による卓話があります。

4月13日(木)の例会振替になりますので、よろしくお願ひ致します。



○親睦活動出席チーム

※ニコニコボックス発表 須藤 智秀 委員

安保会長 西川会員、本日の卓話よろしくお願ひします。

楽しみにしております。

相田幹事 本日は雪が積もっているため、お帰りは足下に気をつけてお帰り下さい。

西川さん、卓話よろしくお願ひします。

伊藤会員 2017年1月19日の創立記念日を前に、今日相田幹事から卓話を依頼され、まことに光栄に思いつつニコニコを!!

渡辺会員 ディナさんの来会を祝して。

日下部会員 西川会員の卓話を楽しみにしています。



本日の合計	235,000円
累計	967,000円
予算達成まで	1,539,000円

卓 話

※テーマ「私の趣味(盆栽)」

西川 哲造 会員



安保年度になってプログラム・会報チームの配属となりました。7月に鈴木圭一チームリーダーのもとでチーム会が開催され時に、鈴木チームリーダーから“今度盆栽を始めてみようと思っている”と話されました。そして“誰か盆栽している人知りませんか”と話されました。

その時、鈴木チームリーダーの横に座っていた私が「盆栽は50年している」と云ってしまいました。そこでそれなら盆栽の卓話をして下さい。”と云う話から今日を迎えました。

今日は朝から初雪が降っておりまして、あたり一面真っ白です。盆栽の話をするには丁度良い時期かと思っています。

私が盆栽を始めたのは50年前に遡ります。今70才、20歳の頃から始めていたこととなります。その頃、友人数人と趣味の話になり、それぞれの趣味の話をしました。私は「盆栽です」と云ったところ、「爺くさい」云う事になりました。その時から趣味は「盆栽です」と公言することを封印して参りました。

それから50年、先ほど申し上げました通り委員会で「ふと」漏らしてしまいました。これで封印が解かれました。今日卓話のチャンスを与えて下さいました鈴木圭一さんに感謝を申し上げます。

盆栽とは何か。特に説明はいらないと思いますが、定義としては「樹木などを観賞用に仕立てた鉢植え」と云うこととなります。言い換えれば鉢に植えた樹木などを芽でつ”のが盆栽の趣味となります。盆栽は「苗木を見つけ、鉢に植え付け、水をやり、芽や枝が伸びてきたら剪定する」のが盆栽の全てではないかと思っています。

盆栽は園芸店で出来上がったものを買ってくる人もおりますが、そうではないと私は思っています。

まず苗木を見つけるところから始めます。松のようにいつも緑色で、葉っぱが落ちない「常緑樹」ではなく、“もみじ”や“け

やき”の様に、秋に紅葉し、葉っぱの落ちてしまう「落葉広葉樹」をお勧め致します。

苗木を探すには、春先に大きな“もみじ”の木の下や大きな“けやき”の木の下に行けば、必ず小さな苗木が見つかるはずでです。苗木と云っても実生一年目のものですから、太さは約1mm 高さは3cm位の小さなものです。この小さな苗木を植えて、30年、40年毎日毎日、水をやり、若い新芽や枝などを剪定して育てたものが、この盆栽です。



これだけでもミニ盆栽として鑑賞用として堪えられます。

「これは鈴木圭一さんに差し上げます。但し、40年、50年毎日毎日水を与え、この様に仕上げてください。」

このもみじは何年経っているかと申しますと、40年～45年位経っております。

一番右にあるのは7～8年経っている「枇杷」です。枇杷の種を鉢に植え、ほっとけば真っ直ぐに伸びますが、2～3年経ってから根元から切ってしまいます。若葉が出て、枝分かれしてこの様な形になります。盆栽としては相応しくないと思いますが、枇杷の葉は葉草としても注目されています。枇杷は強い樹木ですから、種を土の中に埋めるだけで、育ち、殆どの人で失敗はないと思います。

趣味としての盆栽は、樹木にとっては迷惑な話かと思ひます。この“もみじ”も鉢植えにされなかったら、今頃大地に深く根を張って、一抱えもある幹を大空に伸ばして、高さ10mを超える立派な樹木になっていた事が想像されます。盆栽も生物、植物で命を持った生きものです。水がないと死んでしまいます。水がないと枯れてしまいます。生命の寿命を考えた時、人間の寿命より遙かに長いことは明らかです。宮内庁や宮家が所有する盆栽に樹齢数百年のものがあることと想像されます。

有名な盆栽として大宮市の「盆栽村」、近くでは昭和記念公園日本庭園の盆栽館があります。盆栽展で有名なのは「国風盆栽展」があります。この「国風盆栽展」は来年91回となる由緒ある盆栽展です。

盆栽は1年間に3回変化を楽しむことが出来ます。1回目は春先新芽・若芽が出たときの新緑の色を芽でつ。2回目は夏が過ぎ秋になって紅葉に色を楽しむ。3回目は紅葉が終わって葉っぱを落とした時の梢の形を楽しむ事が出来ます。そしておまけとして、今日のように雪が降ると盆栽の上に綿帽子をかぶります。綺麗と云うより可愛いという表現が適当かと思ひます。

最近盆栽は海外の方が有名になっていると思ひます。盆栽の英語訳も「BONSAI」です。盆栽は楽しいものですが、水がないと枯れてしまいます。毎日1回です。大変なのは夏場です。2回位上げないと枯れてしまいます。枯れるのを防ぐ方法として、地面に埋めてしまうと土地と同じ状態ですから、ある程度は大丈夫です。しかし、地表に埋めてしまいますと、根が鉢の下にある穴から這い出してしまい、1年もほっとくと根がはびこって蜂が取れなくなってしまいます。肥料は特に上げませんが、水だけは忘れないようにして下さい。剪定のこともあります。枝が伸びたらちょん切れば良いことです。私も勉強したわけでもありませんが、松などは簡単にはいきませんが、“もみじ”など雑木は簡単です。

ぜひ、皆様も盆栽をお楽しみ頂ければと思ひます。

※謝辞・記念品贈呈

安保 満 会長



左より 安保会長、西川哲造会員、相田幹事

閉会点鐘

安保 満 会長

第2385回 12月8日(木)

会員卓話 講師・大田真也 会員